

議会報告会実施報告書

- 1 開催日時 平成26年4月16日(水) 19時00分～20時40分
- 2 開催場所 西当別コミュニティーセンター 大会議室
- 3 出席議員 議長 高谷 茂 会長 後藤 正洋 副会長 竹田 和雄
 柏樹 正 岡野 喜代治 神林 俊一 臼杵 英男 桐井 信征
 島田 裕司 市川 正 小早川 孝男 石川 和栄 稲村 勝俊
 古谷 陽一 山田 明 秋場 信一 西村 良伸 (17人)
- 4 参加者 27人
- 5 事務局 局長 滝本 隆志 次長 佐々木 由紀夫 主幹 小川 義則 係長 浦島 卓
- 6 実施内容 開会・開会挨拶 4分
 議会報告 39分
 議会報告に対する質疑 0分
 懇談 56分
 閉会挨拶・閉会 1分

7 報告会の概要

(1) 議会報告(報告会資料 10ページ)

① 12月定例会、3月定例会報告

神林議会運営委員会委員長 定例会の会期、議員提出議案の説明と議会改革の取り組み状況等について

市川総務文教常任委員会委員長 12月定例会での庁内情報機器更新整備委託、3月定例会での新年度予算の新規事業である非常用電源搭載車購入事業等の審議経過について

小早川総務文教常任委員会副委員長 3月定例会における総務文教常任委員会に付託された4件の陳情案件の審議結果について

稲村産業厚生常任委員会委員長 12月定例会での除排雪業務委託やパンケ川河川改修工事、3月定例会での新年度予算の除排雪事業や除雪機械導入事業や、子ども発達支援センター建設事業、道の駅基本計画及び基本設計委託事業等の審議経過について

古谷産業厚生常任委員会副委員長 3月定例会における産業厚生常任委員会に付託された2件の陳情案件の審議結果について

山田予算審査特別委員会委員長 予算審査特別委員会での審議状況や全会一致で可決した委員会報告書について

柏樹議会広報特別委員会委員長 議会広報特別委員会の広報編集状況や、常任委員会などの議会活動の周知する工夫などについて

② 質疑

質疑なし

(2) 懇談

議会 今回のテーマとさせていただいている、議員定数と報酬について、これまでの経過と議会の考え方を示させていただき、皆さんから意見をいただきたい。まず経過としては3年前に議会改選され、議会運営委員会を中心に議会改革の議論をしてきた。議員定数と報酬につい

ては、それ以前より議論していたが、昨年の今頃の報告会を終えて、定数をいじるとすれば一定程度の告知をする期間を作らなければならないので、ちょうど一年前から議会の中で議論を進めてきていた。2回目の議会報告会では町内会長さんと各団体長さんに集まっていた色々な意見や、事前のアンケートを取らせていただき、今日の資料の二つ目に前回の報告会のまとめをさせていただいた。そこで皆様から色々な意見をいただく中で、それを民意という形で議会としては捉えさせていただき、その後、各会派や改革推進協議会全員協議会の中で議論を重ねてきた。前回の報告会の事前いただいたアンケートの結果につきましては、議員を増やすべきが1団体、現状維持が9団体、減らすべきが17団体であった。報酬についても増やすべきが5件、現状維持が13件、減らすべきが9件であった。その事を踏まえて2回目の報告会で、その事を報告し、参加者の方から色々な意見をいただき、その意見集約についても資料の方に書かれているので、後程ご高覧願いたい。そう言った意見をいただいた上で、議会の中ではグループがあり、そのグループの中でも協議をしてもらった。結論としては、地方自治法が改正され、議会の定数は条例で定めれば良くなり、以前の人口想定による上限は撤廃されている状況である。現在の定数17名をどうするのかを議論してきた中で少数意見としては、定数を減らさずに報酬を減らして議会費全体を減らしてはどうかとの意見もあった。しかしながら、幅広い方が議員に出てきていただくとか、今の財政状況から言っても何らかの議会費の削減が必要であるとか、議会の委員会を構成して、その中で議論をしていく質を担保するためには一定程度の人数は必要であろうという事を勘案して、議会の定数をどうするのかを議論してきた。そういう中で議会の結論としては、財政状況も鑑みながら、議会の議論の質、議会が皆さんの代表としての地位を担保する状況をどう定数として表現したら良いかについても複合的に考え合わせた結果、現状では議会として、2名減員して15名とする方向で行ってはどうかとの事で一定の合意に達している。これは決定ではない。報酬についても下げたら良いとの意見も伺っているが、若い方にも立候補していただくとかを担保する為にも、一定の報酬は必要ではないだろうかとの議論があり、結果として報酬については、現状を維持するとの方向で議会の合意を得たところである。今日は議会の一定の合意をした方向性について、色々と意見をいただきたいとの事でお集まりいただいたので、忌憚のない意見を伺いたい。

議会 議会としても慎重にこの問題を協議してきた。皆さん方の意見も様々であり、議会としても17名の定数を減らすべきではないとの意見もあったが、色々協議の結果、会長からの話の状況であるので、6月の議会に条例改正しまして来年度の統一地方選挙に向かっていきたいと思っている。当別町では、平成15年の時に22名から5名削減してきた経過があり、その後10年経っていますし、全道の町村のデータとして手元にある通り、議員の定数はその町の人口対比によって決めている事が多いと思う。過去、2万人を超える人口のピークの時定数は22名くらいであった時から、今現在は約3千人も減っている状況では、今回2名程度の削減はやむを得ないのではないかと、一応の合意を見ている状況であるので、皆様方のご判断もお聞かせ願いたい。

議会 2、3年前の未来総研から出された人口統計の予想値で、たしか平成40年には、1万1千4百人程度になるとの予測であった。5年後には、当別町の生徒数が大幅に減るという事も分かっており、色んな事を勘案して議会の方針として、現状で委員会の議論の質を担保する事を加味して2名減として合意したところである。中には少数意見もあったが、各会派を中心に議論してきたので、会派の代表の方で言いたい事があればお受けしたいと思う。

議会 会長からの色々な話で議会としての方針は大体集約されていると思う。2名減の方針に至るまでには、会派の中で一人一人の意見を聞いて、それを会派毎に集約して、会派の意見を持ち寄って会派長会議の中での議論により方向性を纏めてきたものである。

出席者 私は減らすべきではないと思っている。民主主義のコストとしては議員というのは民主

主義の中で必要な事で、以前当別の予算の中で1.5%が議員の手当てだったと思う。1%~2%の議会の中の議員に支払う報酬は当然であると思う。民主主義という事であれば、多数の意見に沿って多数決で決められるが、少数意見は議員が減らされるとだんだんと少なくなっていくと思う。身近なところに議員が居なくなってしまうなど、どこで町政を繋いで行ける議員が居るのかとの問題があると思う。人口が減るのは寂しく、どうしようもない事でもあるが、最近、農業後継者も戻ってきたり、自然が見直されて自然エネルギーなど国も言っており、グローバルばかりが世界の流れではないと思うし、山村に入って現業労働者になる人も増えてきていると聞いており、エネルギーや食料の展望はあると思う。これからも町政と住民とを繋ぐ大事な人達であるので、議員定数は減らすべきではないと思う。

出席者 議員定数を15名にすると言うのを議会側から提案されているので、その事には賛同したい。報酬の関係については、常任委員会が2つになると、委員会の所属の委員の人は毎日忙しいのではないだろうかと思うので、報酬は据え置いて、定数の2名減についても提案通りに賛同したいと思う。

議会 議会改革の色々な議論の中であるが、常任委員会の複数所属についても現在は認められており、常任委員会を3つにして複数所属とするとの議論も行ってきたが、当別町議会としては、時期尚早なので2常任委員会制でしっかりと議論していこうとの事である。

議会 昭和50年に議員になった当時は、今と同じ位の人口で議員の数は26名であった。出て来られた議員は、大体各町内会から出てきているので、その地域の事を良く分かっていた。今はだんだん地域との関係が薄れて来ており、現在17名から更に減るのは残念に思うし、住民の人が議会に何を求めるか、議会は住民の為に何をするかとの点での理論展開が大事になってきている。資料にあるように一人の議員は一年間に100回前後役所に行くようになり、3日に1回、議長はほぼ毎日行っているなど専任になってしまっている。これからの問題として、人口が減っていくとどうするのか、そこの地域をどうするのか、道の駅の問題や、このまま子供達が減っていくと、平成31年には小学校に入る子どもが当別全体で60人を切ると将来的には、小学校1校、中学校1校の検討も必要との教育長答弁があったと思う。そこそこの地域の人達が子ども達をどうするのかの問題があってその時に、議員の活動が地域の人達と結びついた活動が大事であると思う。広報を通じて議会の様子を知らせているが、住民からの色々な意見が出され、議会を通じてチェック機能を果たして行きたいと思うので、これ以上減らすのは得策ではないと言う少数意見である。

出席者 議員定数は今のままで良いと思う。理由としては当別町は東から西までと長く、そこそこに地域の議員さんが点在していただくのが一番良いと思う。除雪の話でもそうだが、場所によっては、とんでもなく雪が多く吹雪などその地域によって住んでいる条件が違っているので、是非点在していただきたい。報酬については、高いか安いかは分からないが、その報酬に見合った以上の仕事をしてもらっていると思う。

出席者 人口が一番多い時の26名を知っており、削減は努力してきたと思う。平成30年頃に子どもさんが少なくなる事を考えると、先々を見込んでいくしかないと思う。やはり財政的に借金が多い状況であり、議員さんの正しい議会運営の判断ではないかと思う。借財を抱えている中で夕張のような財政破綻をしないためにも、計画的に負債を返していくべきである。産業の構造の事であるが、行政推進員の当麻町の研修で感じるのは、町施設も地元の木材を使うなどもう少し林業を見直していくべきはないかと思う。何かのきっかけによって、産業の方向が変わってくれば、これから議員定数の数値も変わってくるのではないかと思う。

議会 26人の議員の時は、100億位の予算で、議会費は1億5千万位で1.5%位であった。現在は80億弱の予算で議会費は約8千万で、総予算の約1%になっているかと思う。それでもまだ、120数億の借財を抱えており、議員としても、しっかり議会の質を落とさない形で、今我々が考えられる最良の策は、財政の問題も勘案して2名減であろうとの結論に達

したところである。道州制の問題であるが、明治時代の馬などの交通手段でできた47都道府県が、現在はそういう時代でなく、2、3の県を渡る事が容易な事から出てきた問題であるが、北海道は実質的に広範囲で距離的な問題から、212市町村から179市町村へと合併が一番進まなかったものである。今年になって議員の数が一桁になっている自治体もどんどん増えてきており、それだけ議員の数も減ってきており、その事を含めて、我々の機能が落ちない、質を落とさない限界として、今回2名減という事を、議員17名の中で一定の合意が得られた事を話させてもらった。

議会 3年前に定数を5名減らしたら良いとの要望書が出され、それを議会の中で審議する中で、17名から一気に5名を減らすと言う事については、結果として議会の議論の質を担保する、委員会をしっかりと二つ維持していくとの考えから、5名減は性急すぎるとの判断をしたところである。将来的に人口が未来総研の予測値のような形になった時には、更に減らす事は必要かもしれないが、今の現状では著しく減らすべきではなく、結果的に2名減との形で今回提案させていただいている。過去の最高の一般会計の予算が140数億の時代があったが、当時議員の定数は22名前後だったと思うが、現在一般会計の予算規模が77億で、約半分ちょっとで、そう言った意味でも総合的に勘案して議会としては2名減で提案させていただきたい。それぞれの地域の代弁者としての機能も果たしてほしいとの思いから定数を現状維持すべきとの話であり、議員として必要な事と認識しているが、以前は議員が地域の代表だから議員から町に言ってもらおうとの事が多かったが、今は町が直接色んな事を聞いてもらえるし、この4月からはホームページの中にフェイスブックで、一方通行であるがリアルタイムに書き込みや写真、画像を付けて送れる事が出来るようになり、皆さんのご意見をお会いしなければいけない時代では無くなったと思う。公聴や広報に力を入れて議会の動きを正しくお知らせする事や、こういった報告会を通じて議会が今何をやっているのか、どういう考え方でいるのかを知ってもらおう場面を作らせていただいて、開かれた議会作り、双方向の議会作りを目指していますので、定数が減ったにしても、補完できるのではないかとこの考え方で、結論として2名減らしてはどうかとの事である。今日と明後日と色々と意見をいただいで、持ち帰って議会でもう一度議論をして、改正するのであれば、そういう方向であるが、6月の定例会に条例を提案して、来年の4月の選挙から実施するとの形で告知をさせていただきたいと思っている。その他の意見があれば、聞かせていただきたい。

議会 大体、ご賛同いただいたというような、少数意見は色々と大事にしたいと思いますが、そういう事で押さえさせていただきます。

出席者 行政懇談会の時にも聞いた事であるが、雪対策の問題と行政職員の災害時の対応で、町の幹部がよその町から出て来て本当に災害が発生した時に対応が可能なのかどうかについての2点についてであるが、議員さんがどのように考えて、予算の審査をしているか聞きたい。

議会 予算審査の中で、町外から来ている職員の数は、昨年の決算審査の中でもあったと思うが、たしか40名位が町外から職員として通って来ていると押さえている。それについては、その改善は出来ないのか、採用の時に出来ないのかとの質問を議会の方からはしている。

議会 私も町政懇談会に出ており、その中で出された質問であったと思うが、基本的には町からの答弁があった事ではあるが、今の事が要望との事であるので、出された事については、改めて議会の報告会の中で意見をいただいた、こういう要望をいただいたと町長部局には伝えたい。ただ、議会として、災害時の関係で職員が住んでいない人達が40名から50名いるとの事であるが、それについて強制的に出来るのかと言うと、この前報告会でも報告あったように、中々出来ない、町長としては、そういう事をお願いというか、職員の採用する時にも条件としたいとの答えであったと思う。特に災害時においては、警報が出た時には建設課の職員が役場の方で待機するとの状況を維持しているとの事であったと思う。今後議会と

しても、皆さんが関心を持っている事であり、議員個々としても議会としてもこの問題をどうしたら良いかと言うことを一つのテーマとして考えていかなければならないと個人的には思っている。

出席者 資料を貰った中では、平成25年1月時点で一般職の職員が195名で、その内町外者が57名との事での、割合が約29%との状況であり、給料は支払うが、町の収入である固定資産税や税金は入らない事になっていると思う。その方々の家族を含めると、少子化対策や人口減を防ぐと言われても、住民目線ではあまり真実味が湧かないと思っている。何か考えていった方が良いと思う。

議会 たしか町政報告会の折にも、そういった職員は減らしていきたいと町長は示しましたし、また、仮に親の介護等で、こちらに来れないとの話もあったと思う。そういった方に対しては、ふるさと納税をしてもらうとかの対応をお願いしたいとの事であった。人口減をどのように抑えていくかは、住民の皆様と議会も含めて一緒に対応して、早急に取り組みなければならないと認識している。強制的に出来ないのが難しい問題であるが、議会がそういう意識を持っている事を、何らかの形で意思表示していく事で職員の意識も変わってくるのではないだろうか。特に災害の緊急時に対応するためには、役場の近くに住んでいる事は大事になってくると思う。

議会 町の方にこういう意見がありましたと言うべき件については、町に報告させていただき、町から回答いただきましたら、今日参加の皆様には、回答を後程必要であれば議会から送らせていただく事としたい。定数の関係については、大筋で合意をいただいているという状況なのかなと判断させていただいている。今日いただいた意見を大事にして、今後更に議会としてどういう方針で行うのかを議論させていただく事としたい。

議会 今日のテーマである、議員定数と報酬について議会側の考えを聞いていただいた。今日のような要望を聞かせていただく機会をこれからも増やして行って、距離の近い議論をさせていただいて、皆様からの意見が議会活動の中で、質問してくれる議員がいたなどの形で、どんどん出て行くような、そのような会にしていきたいと思っておりますし、議会報告会を開く大きな意味でもあります。今後とも、我々の活動のためにも、このような機会には、どうか色々と教えていただきたいと思いますし、お礼に変えさせていただきます。